

「安全対策」は、機能する保障がない

女川原発の原子力規制委適合性審査

公開勉強会のご案内

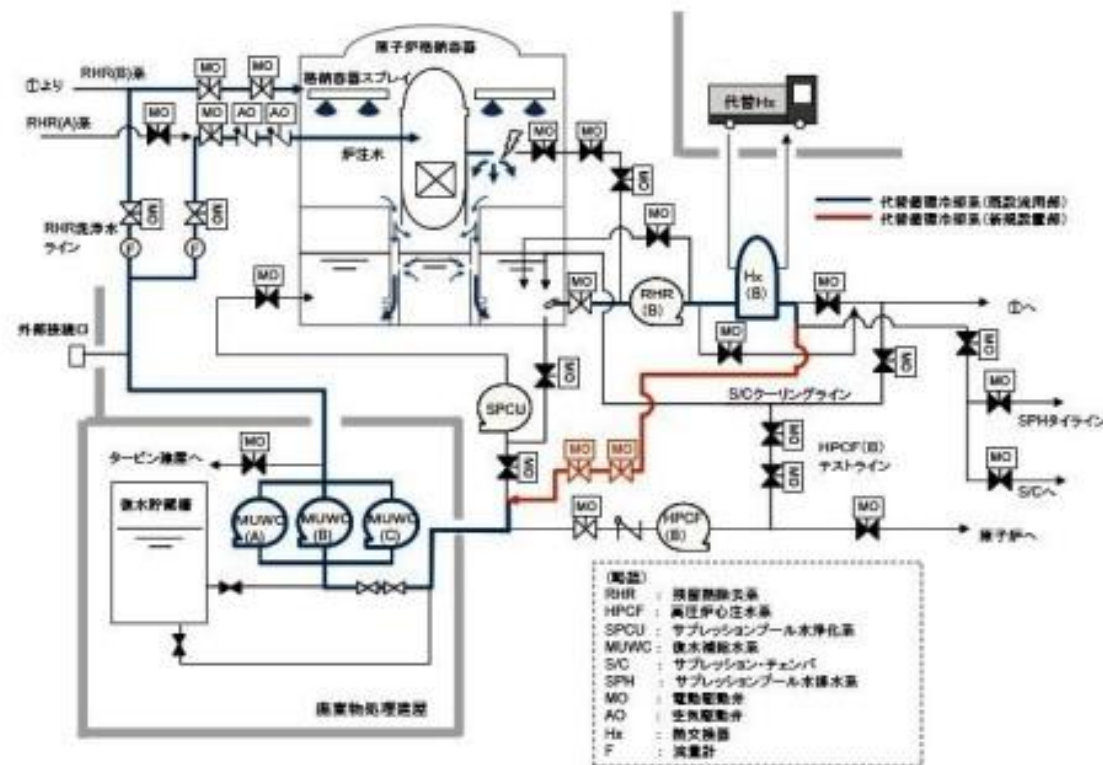
- ・女川原発は、事故を起こした福島第一原発と同じ型式の沸騰水型原発です。沸騰水型は、格納容器が加圧水型より小さく、放射能を閉じ込める力が劣るので、原子力規制委員会は加圧水型原発の再稼働を先行させてきました。
- ・沸騰水型について原子力規制委は、フィルター付きベントや代替循環冷却装置等を設置したら審査に「合格」させようとしています。が、機能する保障はありません。
- ・女川原発の適合性審査の経過とその問題点について、原子力研究所出身の舘野淳さんから話ししていただきます。
この勉強会は、誰でも自由に参加できます。

講師 = 舘野 淳氏

元中央大学教授・核燃料化学

日時 = 11月27日(月) 15時30分～17時(予定)

会場 = 宮城県議会 一階 第1応接室



東電が第231回適合性審査に提出した代替冷却装置の図

主催：脱原発をめざす宮城県議の会

会長 佐々木功悦（宮城県議会「みやぎ県民の声」）